

連綿と続く“たたら製鉄”を次世代へ。

たたら

TATARA SYMPOSIUM 2011

シンポジウム



鉄、人、自然。

2011年

2月20日(日)

13:00~17:30

くにびきメッセ国際会議場(松江市) **入場無料** ※申込期限 2011年2月10日(木)

たたら

TATARA SYMPOSIUM 2011

シンポジウム

連綿と続く“たたら製鉄”を次世代へ。

鉄の道文化圏においては、日本において1,500年以上の歴史を持つ「たたら製鉄」が、今でも連綿と中世から数百年に及ぶ日本固有の鉄づくりのシステムとして営まれています。

また、江戸時代から明治時代前半にかけては、この圏域が日本列島随一の鉄生産量を誇っていました。

この圏域のたたら製鉄の価値を再認識し、これからの保全活動に圏域及び関係団体が一体となって取り組むために開催します。

2月20日(日) 13:00~17:30
くにびきメッセ国際会議場(松江市)

スケジュール Schedule

13:00 開会

基調講演Ⅰ『たたら製鉄の世界的価値について』

講師：国立科学博物館理工学研究部 グループ長 鈴木一義先生

基調講演Ⅱ『鉄—137億年の宇宙誌』

講師：東京大学総合研究博物館 准教授 宮本英昭先生

圏域における保全活動の事例発表

(休憩)

15:00~17:30

パネルディスカッション

〈コーディネーター〉国立科学博物館理工学研究部 グループ長 鈴木一義先生

〈パネリスト〉東京大学総合研究博物館 准教授 宮本英昭先生

資源・環境戦略設計事務所 代表 谷口正次先生(資源・環境ジャーナリスト)

財団法人日本美術刀剣保存協会 たたら課長 黒滝哲哉先生

山陰中央新報社 編集委員兼論説委員 引野道生先生

鳥根県古代文化センター 専門研究員 角田徳幸先生

17:30 終了

主催 鉄の道文化圏推進協議会

後援 財団法人日本美術刀剣保存協会、財団法人日本鉄鋼連盟、全日本刀匠会、鳥根県、鳥根県教育委員会、安来市、安来市教育委員会、雲南市、雲南市教育委員会、奥出雲町、奥出雲町教育委員会、株式会社田部、財団法人可部屋集成館、財団法人絲原記念館、日立金属株式会社安来工場、株式会社安来製作所、和銅博物館、財団法人鉄の歴史村地域振興事業団、中国電力株式会社鳥根支社、神話のふるさと「鳥根」推進協議会、山陰中央新報社、朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、日本経済新聞社松江支局、中国新聞社、産経新聞松江支局、鳥根日日新聞社、共同通信社松江支局、時事通信社松江支局、NHK松江放送局、山陰中央テレビ、日本海テレビ、BSS山陰放送、エフエム山陰、安来商工会議所、鳥取県日野町、日野町教育委員会、鳥取県日南町、日南町教育委員会

協力 NPO法人ものづくり生命文明機構

キトリ線

基調講演Ⅰ 『たたら製鉄の世界的価値について』

講師：国立科学博物館
理工学研究部 グループ長
鈴木一義先生



基調講演Ⅱ 『鉄—137億年の宇宙誌』

講師：東京大学総合研究博物館
准教授 宮本英昭先生



【たたらシンポジウム申込書】

氏名	フリガナ	住所	〒
電話番号	() -	所属	

〈お申込み方法〉

電話又はFAXにて住所、氏名、電話番号をご連絡ください。

お申込み・お問合せ

鉄の道文化圏
推進協議会事務局

TEL.0854-54-2524
FAX.0854-54-1229